



# 県政報告 県政を身近に

平成28年  
**2016**  
秋季号

Vol.21

埼玉県議会議員

## 武内まさふみ

たけうち

【発行】  
埼玉県議会 自由民主党議員団

### 〈ごあいさつ〉

平成28年9月定例県議会が10月14日に閉会しました。今回、私は一般質問をする機会を得ました。人口減少地域への県の重点支援を訴えたのははじめ、太陽光発電施設の設置規制強化、移住促進など、私たちの地域が抱えている課題について質問しました。均衡ある県土の発展と地方創生の実現に向けて、引き続き、議会活動に全力で取り組んでまいります。県政に対する皆様のご意見をお待ちしています。

### 平成28年9月定例県議会 (平成28年9月23日～10月14日)

### 国の経済対策、安心・安全推進への補正予算

9月定例県議会では、122億7,729万3千円の一般会計補正予算案を可決しました。補正予算の中で最も大きなものは、国の経済対策に基づく対応や台風9号による災害復旧に関連する経費(108億9,425万円)です。他には、歩道や自転車レーンの整備として、約9億7,213万円を計上しました。

### 主な補正予算

#### ●埼玉水族館復旧工事

2億7,500万円

6月に発生した火災により損傷した施設を復旧する工事。全方位型の水槽の整備など展示方法も工夫し、平成29年3月リニューアル全面営業をめざす。



#### ●歩道・自転車レーンの整備などの推進

9億7,213万2千円

#### ●日本版DMO法人登録に向けた物産観光協会の体制強化

3,482万8千円

国の地方創生推進交付金を活用して、協会が行う専門職員の配置や物産観光戦略のためのデータ収集、人材育成などの事業を補助する。  
\* DMO=地方公共団体と連携して関係者間の合意を図って、観光地域づくりを行う法人



▲アニメをテーマにした観光も展開 アニ玉祭に集うコスプレイヤー

#### ●埼玉農業の競争力強化

6,238万円

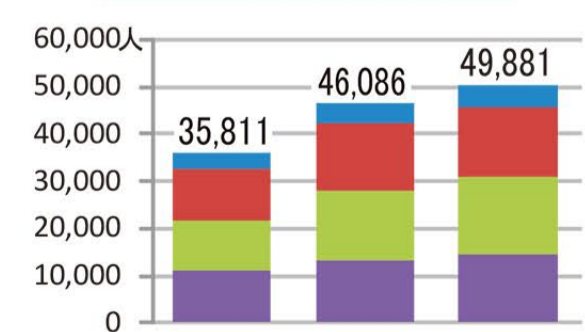
久喜試験場で行われる大規模トマト水耕栽培の実証・研究事業に、土耕栽培技術を加え、県が主体となって栽培技術を普及するため、新たに、次世代技術実証・普及センター(仮称)を整備する。〈継続費(H28～29年度)1億4,433万6千円〉。



### 福祉保健医療委員会における審議内容

- 2025年に向けた埼玉県地域医療構想(案)を原案どおり承認。
- 平成30年度から国民健康保険が県による財政運営になることから、新制度に向けて運営方針などを審議する「国民健康保険運営協議会」を設置することを承認。
- 小児医療センター新病院と循環器・呼吸器病センターへ診療科目の新設をすることを承認。

### 入院患者の医療需要推計



(人/日)	平成25年	平成37年	平成47年
需要合計	35,811	46,086	49,881
高度急性期	3,543	4,145	4,232
急性期	10,625	14,007	14,892
回復期	10,701	15,044	16,288
慢性期	10,942	12,890	14,469

### 「5か年計画特別委員会」が設置される



平成28年度に県の5か年計画が終了することから、知事から次期5か年計画(案)(H29～33年度)が提出されました。これに伴い、県議会に新たに5か年計画特別委員会(委員18名)が設置され、武内県議が委員に任命されました。特別委員会で継続して計画案を審査し、今年度中に議決する予定です。